

小樽後志地域医療連携システム説明書

小樽市立病院は、複数の医療機関をセキュアなインターネット回線を通じて接続し、診療情報を共有する「小樽後志地域医療連携システム」を運営しています。

1. システムの目的

地域医療連携システムは、参加施設間を結ぶインターネット回線で診療情報を共有します。地域医療連携システムを利用することにより、複数医療施設間の医療連携を緊密に行うことを目的としています。

2. システムに参加することのメリット

地域医療連携システムに参加すると、受診歴や治療・検査の情報が共有でき、重複した検査、薬剤投与を防ぐことができます。従って、複数医療機関を受診しても一貫した安全で効率の良い医療を受けることができます。

3. 個人情報保護の確保

このシステムでは、患者様の診療情報を守るために次のような対策を講じています。

- 1) このシステムで診療情報は高度の暗号化がなされており、インターネット上を流れる情報から個人情報が漏れることは原則的にほとんど不可能です。
- 2) このシステムでは、例えば閲覧者の個人ID、パスワードが漏れたとしても、特定の許可された端末以外では患者個人情報を閲覧できません。

4. 参加をやめたいときは

このシステムの参加をとりやめたくなった場合には、いつでも中止することができます。

参加の同意を取り消す場合には、同意書を提出した際に受け取った同意撤回届で申請してください。

5. 連携の取り消し

以下の場合には、連携は自動的に取り消されます。

同意撤回届申請の必要はありません。

- 1) 転院前などで紹介先病院へのデータ閲覧を許可した場合でも結果的に転院せず、連携の必要がなくなったと判断された場合
- 2) 外来受診などで紹介先病院へのデータ閲覧を許可した場合でも結果的に外来受診せず、連携の必要がなくなったと判断された場合
- 3) 患者様が死亡された場合

6. 最後に

小樽後志地域医療連携システムへの参加は、患者様ひとり一人の自由な意思によります。

もし、参加されなかった場合や途中で参加を取りやめた場合でも、今後の診療に何ら不利益を被ることはありません。